

グリーンインフラの取組について

令和6年度は、雨水流出抑制対策の強化を目指し、グリーンインフラの取組を推進してきました。この4月には、気候変動に伴う豪雨災害、都市のヒートアイランド現象、生態系への影響などの様々な地域課題に対して、自然の有する多様な機能を活用したグリーンインフラの取組を組織横断的に推進していくことを目指して、都市整備部管理課に新たな組織を立ち上げました。この組織において、全庁的にグリーンインフラの考え方を普及させ、あらゆる施策の検討段階からこの考え方を取り入れられるように支援していきます。なお、グリーンインフラの取組の検討や気運醸成などについては、国や東京都の支援や補助金を活用して進めていきます。

1 全庁研修について

全庁研修の実施により、各課が取り組む地域課題の解決に向けて、グリーンインフラの取組事例などを学び、グリーンインフラの考え方を理解することで、あらゆる施策の検討段階からこの考え方を取り入れていくことを目指す。

2 グリーンインフラ杉並区民会議について

昨年度実施したグリーンインフラ杉並区民会議では、参加者が、杉並区の現状や課題、グリーンインフラの取組事例等を学び、雨庭作成を体験することで、グリーンインフラの考え方を理解し、区民によるグリーンインフラビジョンをまとめた。引き続き、ビジョンの実現に向けた課題の整理やグリーンインフラの多面的な効果についても考え、区民等との協働によるグリーンインフラの取組の方向性等をまとめたガイドラインの作成に向けて、区民等と意見交換などを実施する。

3 グリーンインフラの周知について

昨年度は、専門家による講演や雨水の浸透実験、パネル展示などを通じて、区民等への周知活動を行ったが、グリーンインフラに関する認知度は十分ではないため、引き続き周知活動を実施していく。今年度は、科学体験施設「IMAGINUS（イマジナス）」と連携し、体験型の企画展やワークショップを通じて、将来を担う若い世代がグリーンインフラに関心を持てるように、グリーンインフラを活用した取組を分かりやすく伝えるとともに、グリーンインフラに触れ合う機会を創出する。

4 今後のグリーンインフラ関連スケジュール（予定）

令和7年	8月～	全庁研修、桃井原っぱ公園体験型ワークショップ
		科学の拠点と連携した体験型展示・ワークショップ
	11月～	グリーンインフラ杉並区民会議
	3月	グリーンインフラ杉並区民会議の意見整理・まとめ
令和8年度以降		（仮称）杉並区グリーンインフラガイドライン策定